

歯科衛生士職を目指した動機についてのアンケート調査結果

公益社団法人東京都歯科衛生士会

会長 藤山美里

昭和23年歯科衛生士法が施行され昭和25年に養成された日本で初めての歯科衛生士が誕生し早73年が過ぎようとしております。歯科衛生士業務は法改正により、第2条2項・3項が加わり、社会の変化に伴い大きく変貌してまいりました。現在、歯科衛生士業務は多岐に渡り、保健・医療・福祉また、研究職として多くの歯科衛生士が活躍し社会に貢献しております。その期待とは裏腹に女性が多くを占める職種であることも一因となり、離職者が多いことが問題となっております。

そのような中、歯科衛生士を育て輩出する歯科衛生士学校の役割はとて大きくなっております。

歯科衛生士学校は、法改正並びに歯科衛生士に対するニーズの変化に伴い、法制定当時、1年であった修業年限は、歯科衛生士学校養成所指定規則の改正により、昭和58年から2年制、平成16年から3年制と延長されてまいりました。

現在では、全国で大学13校、短期大学16校、専門学校150校となり、入学定員は9811名(全国歯科衛生士教育協議会「歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告令和5年度版より」となっております。

しかしながら、少子高齢化の波は歯科衛生士にとっても例外ではなく、2023年度の歯科衛生士学校全体の入学定員充足率は、84.8%となっております。(全国歯科衛生士教育協議会「歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告令和5年度版より」)

18歳人口は今後も減少することが考えられ、また、文科省の調べによる高等教育機関への入学状況を見ますと大学への進学者は増加傾向となっている一方、短大、高専への進学は減少し、横這いであった専修学校への入学者も2022年度は減少しております。歯科衛生士を目指す方々にも影響が及ぶことが考えられます。

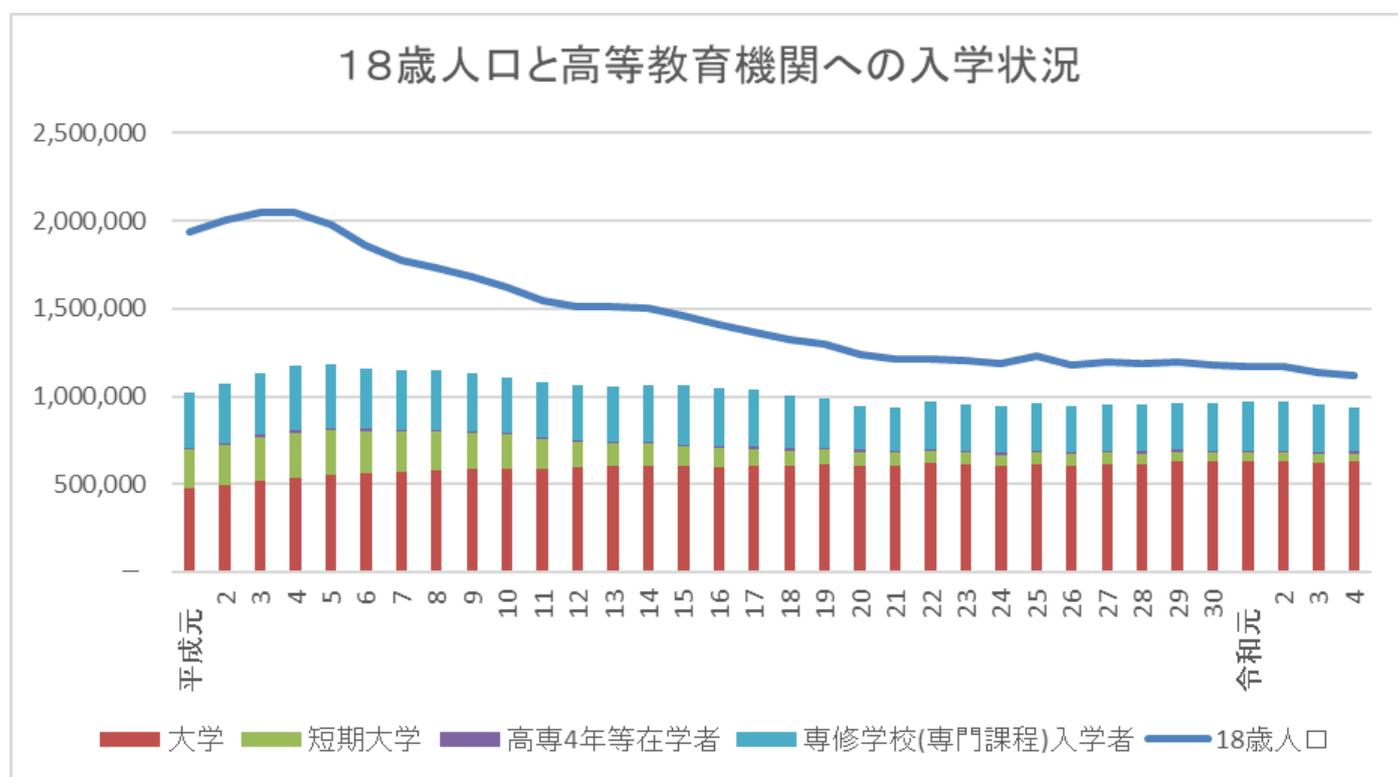


表1(文部科学省学校基本調査より)



横版フライヤー(歯科衛生士学校の地図)



縦版フライヤー
(歯科衛生士学校説明 QR コード)



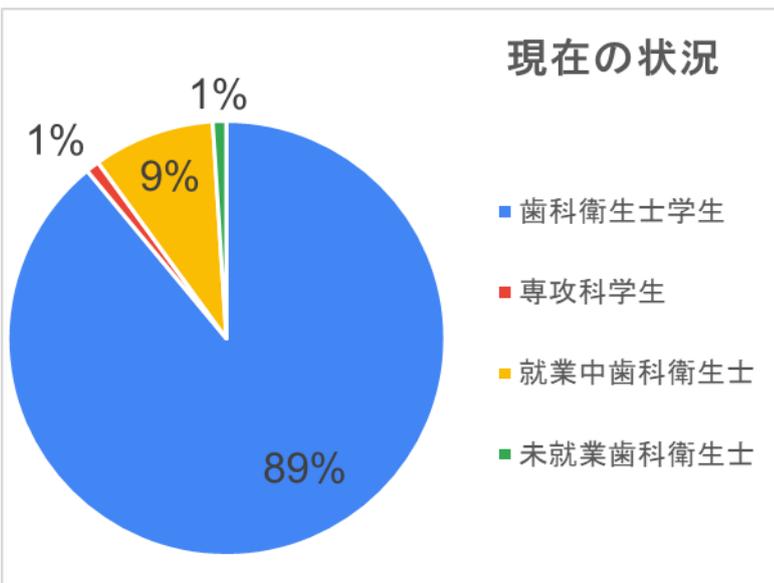
そのような現状を考え、東京都歯科衛生士会では、2022 年度より東京都の学校を PR するフライヤーの作成や、歯科衛生職について知ってもらおうと 8 ページに及ぶ冊子の作成に取り組んでおります。

これらの広報誌を効果的に配布するためには、歯科衛生士の皆様に歯科衛生士を目指した動機をリサーチすることが必要ではないかと令和 5 年 6 月 23 日～8 月 3 日にかけて Google フォームを活用し「歯科衛生士を目指した理由」についてアンケート調査させて頂きました。今回の調査につきましては、東京都在学の歯科衛生士学校の皆様に多大なご協力を頂き、1002 名からのご回答を得ております。

設問 1 現在を教えてください

- ・ 歯科衛生士として就業中
- ・ 歯科衛生士学校の学生
- ・ 歯科衛生士業務には就いていない
- ・ その他:

今回、東京都在校の歯科衛生士学校の協力を得たため、在学生の回答が多くを占めている。志望動機の最新の情報を得ることができたのではないかと考える。

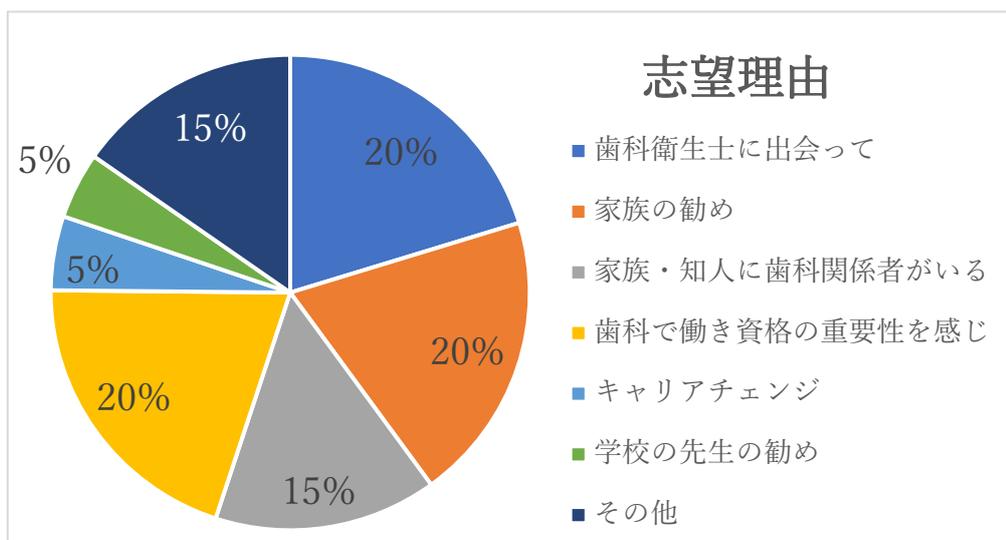


n=1002

設問2 歯科衛生士を目指したきっかけを教えてください

- ・ 歯科衛生士に出会って
- ・ 家族の勧め
- ・ 学校の先生の勧め
- ・ 家族・知人に歯科関係者がいる
- ・ 歯科で働き資格の重要性を感じた
- ・ キャリアチェンジ
- ・ その他

家族に、歯科医師・歯科衛生士がいる者が歯科衛生士職を熟知した上で志望している割合が多かったものの、それまでの日常の中で出会った歯科衛生士の存在が志望動機の上位を占めていた。高校教諭からの勧めが少ないことがわかる。

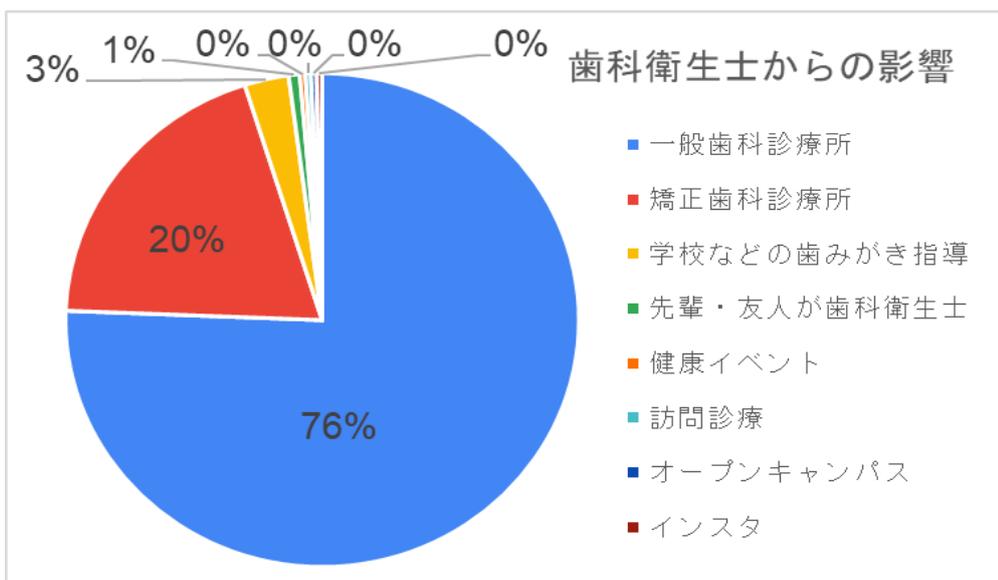


n=1002 複数回答

設問2-2 1.で歯科衛生士に出会ってと回答された方、具体的な場所を教えてください

- ・ 一般歯科診療所
- ・ 矯正科歯科診療所
- ・ 学校などの歯みがき指導
- ・ 健康イベントなど
- ・ 訪問診療
- ・ その他:

幼少期より、かかりつけ歯科医院を持ち、予防を通し長年関わった歯科衛生士に憧れ目指したことがわかる。また同じように矯正歯科においても長期にわたり、歯科衛生士と接しその仕事内容を通し志望したことが伺える。



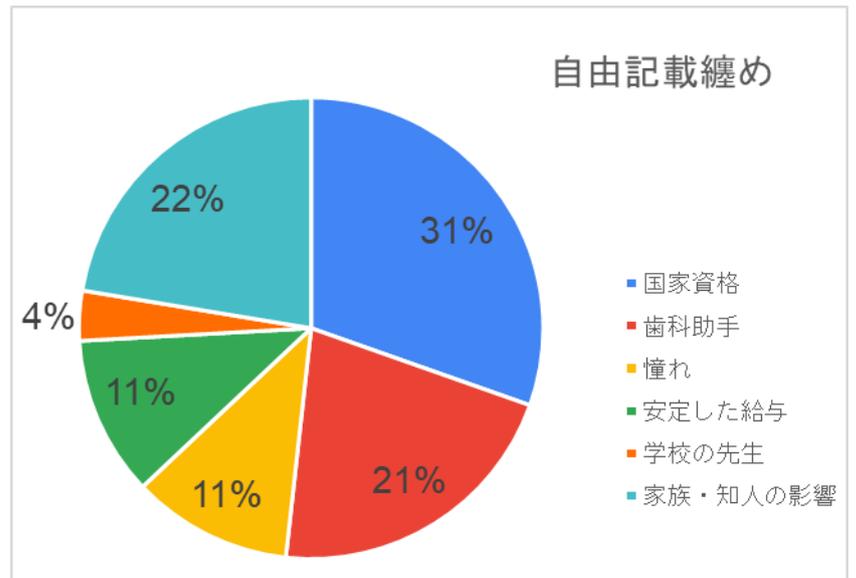
n=265 複数回答

未記入者は2名、その他はいませんでした。

● 歯科衛生士を目指したきっかけに関して、自由にご記載ください

主だったキーワードのみを集計しています。

国家資格であることから安定し、生涯に渡り働くことができることが志望理由となっている。また、歯科助手として仕事をしている中でキャリアアップを目指し、入学に至った者も多くを占めている。



自由記載(すべて記載)

自由記載(歯科衛生士を目指したきっかけ)

1で回答した診療室の素敵な歯科衛生士さんが、入学願書を取り寄せてくれた。

中学生の時に通っていた歯科医院で、フリーランスの歯科衛生士さんに出会いました。その後アルバイトして楽しそうな仕事と感じました。進路を歯科衛生士と看護師と迷いましたが、その時は命と向き合う自信がなく、歯科衛生士を選びました。30年後の今、入院患者の口腔ケアを行い、命と向き合い、看護師に頼られる仕事をしています。

資格を持っていて安定した給料が出る職に就きたかったから

口腔の健康が体の健康に繋がっているという事を知り、学んでみたいと考えました。

就活に困らないから

幼い頃、定期検診で通っていた歯科医院で出会った衛生士さんに憧れて歯科衛生士を目指すようになりました。

大学の時に歯科助手としてアルバイトをした時の歯科医師は本当に嫌な人で歯科医院が大嫌いでした。しかし、関連会社に歯科医院があったご縁で、歯科助手のお手伝いをする事になり、再度歯科医院で働くことになりました。そこで働く歯科医師の方々は優しく、特に院長先生にはたくさん助けて頂きました。何か院長先生に恩返しがしたいと思い、衛生士の資格を取って、より広い範囲の仕事をしたいと思うようになったことがきっかけです。でも、この恩返しのことは院長先生には内緒にします。笑

歯科医院で助手・受付として勤務していて、資格があればライフステージが変化しても再就職できると思ったから

国家資格が得られるから

どんな職業に就くか考えていた時に母の歯科衛生士時代の話思い出して私も母のように楽しく働きたいと思ったから
母に勧められ歯科衛生士という職業に魅力を感じたから。また手に職をつけたかった。

歯科助手で働いていたのでキャリアアップとして

歯科助手として働いてる中で、もっと患者様と関わりたい、直接ケアをしたいと思い歯科衛生士になろうと決意しました。

歯科助手として働いている中でもっと自分で出来ることを増やしたいと思ったから

母の介護を通じて訪問歯科の現状をしり、衛生士として携わりたいと思った為です

職の安定性

出産や子育て、病気の治療などがあっても一生できる仕事だと思ったので

歯科助手として働いていて、衛生士という仕事に興味をもったから。

小さい頃から歯医者に通っていたから

働く条件が良い為

なんとなく

国家資格なので取得すれば働くのに便利だと思った、これから先 AI にさまざまな職業がなくなると予想されてるが、歯科衛生士などの医療業務はまだ人間が携わらないと無理だと知って、将来的なことを考えるといいなと思った。

手に職をつけたいから

将来手に資格をと考えたとき幼い頃から現在までお世話になっている歯科衛生士が思い浮かんだから。

手に職をつけて将来働きたかったから。

看護師と迷ったが、勤めていた総合病院で患者さんが亡くなるのが辛かった。病気で苦しむ患者さんを見て私は歯科衛生士になって病気の予防にまわろうと思った

給料がいい

国家資格で安定しており将来ずっと働ける仕事だと思ったから。

歯科助手をしていた時の、歯科衛生士との待遇の激しい差に悔しい思いをしたので、資格を取ろうと思いました。衛生士さんは、時間とお金をかけて勉強してきたのでしょうか、きちんと責任を持って働かない方が多かったです。それにも関わらず、きちんと働いてる助手の待遇があまりにも下とは、働いていて悲しくなりました。きちんと責任を持って働く衛生士さんが増えますように！

小さい頃から関わりがあったから。

小学2年生の頃から矯正歯科に通うようになり、高校3年まで同じ衛生士にお世話になりました。矯正治療が終わった頃、ちょうど進路に悩んでいた頃で、国家資格であり女性に優しい働き方、収入も良いとの事で趣味と両立でき素敵だなと思いこの仕事に決めました。

歯列矯正をしていて、治療をする中で不安や疑問が出た時に自分に知識があればと思ったため

今まで歯に関してあまり関心が無く、定期検診の重要性も知らなかった為長年歯医者に行っていなかったのですが、数年ぶりに歯医者に行った際たくさん虫歯が見つかり、そこから長期間にかけて歯周病やう蝕治療の日々が始まりました。その際に長い期間をかけて歯科衛生士さんに歯磨きの指導やう蝕や歯周病の怖さ、実態を教えていただき、口腔ケアの重要性を理解することができました。また、それと同時に一度う蝕になってしまった所は二次う蝕のリスクがあると知り、小さいうちから歯のケアをしっかりやっておくべきだったと後悔しました。自分のように虫歯や歯周病になってから後悔する人を少しでも減らしたいと思い歯科衛生士の道を目指そうと思いました。

国家資格だから

給料が安定しているから。

安定した収入が欲しかったから。

いいなと思った

歯科に興味があったからその方面の資格が欲しかったから。

コロナ禍で医療系の資格が欲しいと感じた。歯科が1番身近だった。高齢社会なのでケアマネの資格に繋げる事が出来るのも魅力だと思った。

進路に悩んでいた時に、漠然と何かしらの医療系に就きたいと考えていた。そんな時に、父から、幼い頃から虫歯で歯科医院に行くことが多かったし、矯正もしていたから歯科衛生士がいいんじゃないかと言われた。実際、矯正をしてからもっと綺麗な歯になりたいと思うようになり、興味をもっていた。そこから、歯科衛生士を目指せる学校について調べるようになり、他のものを学ぶよりも興味があると思ったため、歯科衛生士を目指した。

資格を取って働こうと思った。

資格が取れる

人の役にたちたかった

正直学校通うまでは妥協だったけど実際に歯科衛生士について学び始めてから歯科衛生士の仕事が楽しいことを知った。

国家資格があり、ずっと手に職で生きて入れると思ったから

国家資格を取得したいと思ったから。

手に職をつけれるから

様々な専門学校を見学している際に歯科衛生士のお仕事に魅力を感じ、目指しています。

国家資格を取れるから

前歯を折る経験をして歯科医院に通うようになりました。

通っていた歯医者さんを見て興味を持ちはじめた

給料が安定しているため

グループホームに入所している祖母が歯科衛生士による口腔清掃指導があったこと、そこで習ったことを楽しそうに話してくれて、自分も認知症の患者さんに記憶に残ってもらえるような歯科衛生士になりたいと思ったことがきっかけでした。

歯科助手として働く中で、歯科の仕事が好きになりました。一から学び直し知識や技術を増やしてスキルアップして、人の為に歯科の分野で貢献したいと思い歯科衛生士を目指しました。

知り合いの歯医者さんに勧められたから。手に職をつけたいと思ったから。

昔から親に口うるさく国家資格は取れる時に取っとくべきと言われていたので何か国家資格がとれる学校に進学しようとは考えていました。自分の力で国家資格を取得して自信をつけるため、またいつの時代でも必要とされる、将来性のある職業だと思い、歯科衛生士を目指しました。

虫歯や歯周病について学ぶことで、自分や家族の口腔衛生状況の改善に繋がると思ったから。

資格が持てるから、歯に興味を持ったから

進路フェアで話を聞いたのが目指したきっかけ

需要が高く、就職しやすいから。

国家資格なので、資格が失われることなく生涯に渡り働き続けられると考えたから。

安定した職業だと思ったので目指そうと思いました。

矯正をして、そこから魅力を感じた

社会の役に立てる仕事だと思ったから

資格をとって生涯働けるのは強い。女性は結婚や出産さまざまなイベントがある中で、またもう一度社会復帰ができる。

歯科助手としてアルバイトをしたことで、歯科衛生士を知り目指すことにしたのがきっかけです。

働く場所が多い

歯科助手として歯科医院で働いていて、その医院にいる歯科衛生士の方がプロフェッショナルな感じで何でも出来ているのを見てカッコよく思ったから。

歯科助手のアルバイト経験から

資格を持ってるといいと思ったから

安定職

治療中の私に優しく声をかけてくれたり、たくさんの人の役に立ってる姿や笑顔にしている姿をみて感動したから。

通っていた歯科医院の歯科衛生士が子どもが持つ治療に対する恐怖心をコミュニケーションと優しい笑顔で和らげている姿を見て、私も心から寄り添える歯科衛生士になりたいと思った。

日本 2030 年問題に向けて、グローバル医療人になりたくて、選んだ。

通っていた歯科医院の歯科医師から歯科衛生士に関わるお話を聞いた

親切的な歯科衛生士さんに出会ったことや家族から勧められたことも大きな理由となりましたが、1 番はコロナ禍を経験して、資格を持っていることの大きさを感じたからです。

就職先の豊富さ、収入の安定

国試なのでどこに行っても仕事が出来るという点で魅力を感じたから。収入が安定していること。

歯科助手を経験し、仕事の幅を広げたかった。

幼い頃、虫歯治療が怖く泣いていた時に、優しく声をかけてくれた歯科衛生士さんのようになりたいと思ったから。直接人の役に立てる仕事でやりがいを感じられそうだから。

母親に勧められて、人々の健康に直接関われる歯科衛生士に魅力を感じたから

将来安定

国家資格で安定しているため

歯科医師を目指している友達にいつか一緒に働けるかもねって言われたから

母が歯科衛生士で憧れたのがきっかけです

高校三年生の時に進路を決める際出会いました

歯科受付で働いていて中の仕事の方が楽しそうだったから。資格をとりたかったから

なんとなく

生きていく上で大切な歯を守るために歯科衛生士になりたいと思いました

どの地域に住んでいても職があり、働くことができるからです。

優しくて安心させてくれる歯科衛生士さんを見て憧れたから

昔よりも助手と衛生士の分業が明確化された為、助手での仕事内容に限界と物足りなさを感じた。

やりがいがあり、国家資格だから、安定した仕事だとおもった。

歯科は閉鎖的で特殊な環境なので資格がないと中々働くには難しいところがあると感じたから。新卒ではまだまだ肩身が狭いだろうが行く行くは技術を身につけて臨床に携わって行きたい。

幼少期に出会った歯科衛生士みたいになりたいと思ったのがきっかけ

安定した職につきたいと思ったから。

口腔内の悩みを抱える人の、悩みの解決の手助けがしたいと感じたから。

幼少期の頃に歯科医院に治療しに行った際に出会った歯科衛生士さんが優しく対応し仕事が早かったのを見てこの職業に憧れを抱いた。

安定した職に就きたいと思ったから。

資格の必要性を感じたため。また、これまでの経験を活かして学び続けるため。

主人が歯科医で継承予定であるので将来的な節税の観点から。

キャリアアップ

芸能人で歯科衛生士になるために引退した人がおり、それで歯科衛生士という職業を初めて知った。

大学で口腔の授業？を少しして興味を持った

資格の重要性を感じて

出会った歯科衛生士さんに憧れたから

自分も小さい頃に通っていたから

安定した収入。国試取ってればやめてもまたできるから

職場に困らず安定していると思ったからです

食べることが好きで、歯科衛生士になってより楽しく自分を含め多くの人が食事を摂ることができるようになったら素敵だと考えたから。

対応が良く、技術もあり憧れた。

歯医者に行くのが怖いと思うことが多かったのですが、優しく丁寧に対応してくれた歯科衛生士さんのおかげで全く怖くなく治療を受けることが出来ました。そんな歯科衛生士さんを見て、私も歯科衛生士になりたいと思いました。

姉が歯科助手をしていて勧められたこと、また近くに歯科衛生士の専門学校があったことがきっかけでした。

幼少期から通っている歯科医院の歯科衛生士さんがとても優しく、かっこよく働いていたので私もそのような人になりたいと思い目指しました。

矯正治療をしていたため興味を持ち、私も矯正歯科の病院で働きたいと思った

小さい頃から矯正をしていて歯に興味があった

おばあちゃんが歯科衛生士

国家資格だから

お金が稼げるから

親戚が歯科衛生士だった

知り合いの歯科衛生士さんに憧れを抱いたから

祖母が歯科衛生士だったから

先生に勧められて

給料がいい。

高校の先生に勧められたから

資格を取れば再就職しやすいから

勧められたから

歯医者に行った時に歯科衛生士の人が優しく安心させてくださり、とてもキラキラして見えて、自分もこのように人に影響を与えたいと思いめざしました。

かかりつけの歯医者さんの歯科衛生士や歯科医師に、歯が綺麗だと笑顔も魅力的だね。と褒めてもらったことがとても嬉しく、これからも綺麗な歯でいたい。その為に気をつけなければいけない事やケア方法を知りたいと思ったのと同時に、私も1人でも多くの人の歯の健康を守り笑顔を増やしたいと思い、歯科衛生士を目指しました

いいなと感じたから。

女性特権の仕事だと思っている。歯科衛生士は医療系なのでやはりカッコいいなと感じる場面が多々ある。

母が訪問歯科衛生士をしていた時に、たくさんの人に必要とされて、1人で何でもしている姿に憧れて歯科衛生士を目指すようになりました！！

医療従事者の中で1番身近に感じたから

家族に勧められて調べてみたら、素敵な仕事だと思い目指しました。

国家資格に魅力を感じました。

国家資格だから

国家資格欲しかった

給料が安定しているため

給料が高く安定してるから

友人が歯科衛生専門学校に通っていたため。また、就職率がいい事、給与がいい事に魅力を感じた。

患者さんのお口の健康に携わりたいと思ったから。自分の子供にも歯の大切さを教えたいから

目標や夢を持つこと、それを叶えることは何歳になってもできるということを知って欲しかったし、何よりもがんばる母の姿を見て欲しいと思ったからです。

キャリアアップのため

自分が癌に罹患して、口腔内に口内炎が沢山出来てしまった時に良くしてくれたのが衛生士さんだったので目指そうと思いました。

専門的な知識で予防の大切さを広く伝えたかったからです

医療の資格を取って患者の歯を治していきたいと思ったため

歯医者で勤めていて、歯科の魅力を知り衛生士さんという職務を知った。そこで衛生士さんになりたいと思った。

小学生の頃から興味があった オープンキャンパスで実際の器具に触れて、自分の将来の姿が想像できたから。またもっと深く学びたいと感じたから

仕事に困らず、どこに行っても働けてしっかり食べていける仕事だと思ったから。

歯科助手では出来る事が限られていて衛生士さんを見て自分もなりたいたと思ったから

医療事務にしようか迷っていて、学校の先生に相談したら歯科衛生士を勧められた。

医療事務と悩んでいて、先生に相談したら歯科衛生を勧められたから。

国家資格で合格率が高いため

歯科検診で歯科に行ったとき、歯科衛生士が魅力的に感じたから。

歯科助手として働いていた時に助手ではできない事が多すぎてもどかしくなったから

高校の併設大学に学部があったため

紹介され興味を持った

母が歯科衛生士だったため

医療系の資格が欲しかったから

親からの勧め

1度資格を撮ってしまえば、将来安定した生活を送れるから。

将来の安定性

母が歯科衛生士で勧められたから。

姉が歯科衛生士をやっている、将来性を感じた

母の姿に憧れた。

国家資格を取れるから

国家資格であり安定しているから

国家資格だから。

勧められた

可愛かったから

国家資格が魅力的

結婚しても続けやすい

小さい頃からお世話になっていて、そのうちに歯科衛生士の業務などが気になり、憧れになった。

楽しそうだったから

安定した職につけるから

資格取れるし、お給料も低い訳では無いからいいかなと思ったから

審美に興味があったため

綺麗な人が多く憧れた

衛生士さんと一緒に働いてみて、いいなと感じた

資格が取れるから

小さい頃通っていた歯科医院の歯科衛生士の方が優しく接してくれたのが印象的だから

国家資格だから

母が脳の手術をすることになってその前に口腔内のチェックしていて大学病院の口腔外科で働いてる歯科衛生士さんがすごく

かっこよくてなりたいたと思った

国家資格がほしいため

国家資格が取れる、将来長く働ける

憧れた

兄が就活で苦戦していたため、就職先に困らない職業につきたかったから。また、小さい頃から細かい作業が得意なため。

姉が歯科衛生士として働いている姿をみてかっこいいと思い調べていくうちに将来の安定さや就職に困らないことを知ってさらに目指そうと思った

国家試験を取りたいと思ったため
安定した職業と、育児で退職してもまた働きやすい環境だと感じたから
細かい作業や掃除をすることが好きだから
歯科衛生士の魅力に惹かれたから
国家資格だから

人の役に立つ仕事に就きたいと思ったから。細かい作業が好きなおことから歯科衛生士が自分に向いてると思ったから。
歯科衛生士は様々な年代の方と関われ、とても充実できる職業だと思ったからです
安定した職業で自分の長所を生かせる仕事だと思ったから。

国家資格で将来安定してそうだったのと、他の国家資格に比べて帰宅時間が早そうだったため
女性でも働きやすく、国家資格の職業であったため。
どこへ行っても働けるから、国家資格を取れるから！

母が歯科助手をしていたため、私も歯に関わる仕事に就きたいと思ったため
長く安定して働ける仕事だから
母が歯科衛生士だからです。

勤務先の歯科医院で Dr から沢山のことを教わっているうちに自分でもやってみたい。と思う事が増え、スキルアップを兼ねて
目指そうと思いました。また歯周病に興味を持ち始めたタイミングで歯周病認定を持っている衛生士さんがいてお話を聞いて
いるうちにやろうと思いました。

資格が欲しいと思ったから
看護師と迷っていて歯科衛生士の方が私にあっていると思ったから
両親が歯科医のため、身近な職業だったから。

家族に歯科衛生士がいたから
将来も働けるから
経済的な面を考えて目指そうとおもいました

アルバイト先の院長に話を聞いて、安定している職業だと思った。
国家資格であることや歯科衛生士なら自分にできると思ったから。
安定しているため(お給料、勤務場所、勤務時間)
高齢者社会に対応できる資格だから。
資格を持って、この先長く働きたいと思った

歯科助手として働いていましたが、歯科衛生士の資格があったほうがキャリアアップできると思ったから。
小学生の頃から矯正をしていて歯科に興味があった。

現在歯科助手で働いていて院長に歯の知識を教わって行くうちに楽しくなりより知識を増やしたくなってきたからです。
歯科助手として働いた経験を活かして資格取得したいと思ったからです。
歯科助手の仕事始めてから、専門知識と技術を身につけたいと思うようになりました。
国家資格で夜勤がなかったから。お給料もよく全国どこでも働けるから。

歯科医院で働きながらキャリアアップをしたいと考えた時に、歯科衛生士になりたいと思うようになった。
友達と同じ職場に見学に行った時に歯科衛生士の友達は面接なしで見学して受かったのに自分は面接して落とされてむかつ
いたからです。

現在歯科医院で助手働いていますが、じぶんのできる仕事を増やしたかったのと今後の人生を考えた時、資格がほしいと思
ったからです。
転職を機に興味のあった歯科の道に進むことにしました。

頼もしく普段から頼れる雰囲気があり自分もそんな人間になりたいと思ううちに歯科で働き始め、そして衛生士になるのには資格が必要と知り、目指してみたくなった。

歯科助手として勤めるなかで歯科に関しての学びの楽しさや奥深さを知り、また衛生士が歯科医師に対等に自分の考えを話している姿を見て刺激をもらい、もっと深く学びたい、キャリアアップしたいと思ったから。

一生の資格が欲しいと考えていた時に、親身な歯科衛生士さんに出会ったことが大きなきっかけになりました。この仕事なら人々を健康で笑顔にできると思ったからです。

超音波スケーラーで歯石を取って見たかったからです。

大人になってからはじめた歯列矯正の経験から、毎月歯科医院に通い歯科衛生士さんと触れ合う機会が増えたことがきっかけです。

歯科助手として働いていて、もっと知識やできることを増やしたいと思ったのと、資格を持っていたほうが将来的にもいいと思ったからです。

私の就職しているところは、MTMを行なっている予防歯科です。歯科衛生士が個室を1人1つ持ち、担当制で患者さんを診ています。歯科医院に勤めていると、歯を失う人や治療している人を多く見て、その度に悲しい気持ちになりますが、それを自分が勤務先の歯科衛生士さんと同じように担当制で個室を持ち責任を持って患者さんのお口の健康と全身の健康を守りたいと思ったからです。

おばの旦那さんが歯科医院を開業しており、そこに見学に行った際、資格の重要性を知り、安定した職に付きたいと思い選びました。

人と関わりながら笑顔に出来る仕事に就きたくて笑顔には大事な歯を綺麗することのできる歯科衛生士を目指した。

高校卒業後やることが決まらず、通った歯科衛生士さんに看護とか介護とかよりは楽だと思っよ！という勧めをされて歯科衛生士を目指しました

会社員として働いていたが、辞めた時に仕事なくなるという事に不安があった。仕事に困らないようにしたいと思ったのと、いくつになっても働けるようにと両親からの勧めもあり進学した。

母親が看護師で、一時期シングルマザーだったのもあり医療系の国家資格を強さを幼少期から見てきました。昔は看護師を目指していたのですが、年の離れた弟の歯医者への付き添いで歯科衛生士という職業を知り、興味を持ち色々調べていくうちに歯科衛生士になりたいと思いました。

20歳の時にたまたま求人を見て歯科助手として働き始めました。数年アルバイトで働き、歯科衛生士という仕事を知り、興味を持ち歯科衛生士学校への見学までしましたが、当時24歳、3年制の学校生活、学費などを考え諦めたのですが、色々な経験を経て、現在31歳ですが、やはり歯科衛生士の資格を取りたい！年齢は関係ない！と思い学校に通うことにしました。

歯科助手から歯科衛生士を目指すことにしましたが、資格の差で仕事を任せてもらえないことの悔しさなども強く感じていました。安心して任せてもらえるような歯科衛生士になりたいと思っているのでこれからバリバリ知識を吸収しながら頑張りたいと思います。

家族の在宅介護を経験した際、訪問診療でケアを受けたことにより継続的に口から食べ物を食べることができ、患者の命と介護中の家族を支えることができる仕事だと感じたから。

コロナがきっかけで留学が延期になり、それまでの暇つぶし程度で始めたのが歯科助手でした。仕事をしていくうちにだんだん興味が湧いてきて、だんだん歯科の仕事が楽しくなり資格を取ってもっと色々な知識を増やしたいと思い歯科衛生士になろうと思いました。

きっかけは一緒に衛生士を目指そうと誘ってくれた友人ですが、助手として衛生士さんの仕事姿をみていて自分もあそこの立場になってみたいと思ったからです。

友人の勧めで歯科助手として勤務し、その前が営業職だったので毎日飛び込むことなく大まかに言えば同じ作業の繰り返しという点に長く続けられそうと感じました。長く続けるには資格をとった方が将来的な収入も数百万と違っだろうと思ったのと、今後結婚をしたときに復職できる職業、診療時間に終わる点、離婚した時に昼夜と大変なパートをしたくないなど人のためというより自分のタメがメインでした。

やりがいの得られる職業のため

国家資格だから

国家資格だから。

歯の大切さを知ったから

家族に安定してるといわれたから

家族に勧められた

資格を持てるから

安全な収入

カッコいいから

親が勧めて、国家資格も取れるから

将来を考えた時、職を手につける重要性を感じた。

給料が良いから

国家資格が取れる

姉が歯科衛生士のため

国家資格を取ることで将来職に困らないから

国家資格取得できるため

国家資格があれば再就職しても働きやすいと考えたから

別の道を目指していたが、コロナ禍で航空業界への就職が難しくなり、資格の取れる職業を探している中で従姉妹が歯科衛生士だったため歯科衛生士の仕事に興味を持つようになったから。

子供の頃に歯科衛生士をみて憧れた

母が歯科衛生士をしており、その姿に憧れて歯科衛生士を目指しはじめました。

資格の強さを知ったから

一般企業と比べると、資格があると一年目から収入が安定していると分かったから。

母が歯科衛生士なため

歯科医師が忙しい時に、印象や仮封等ができるようになればと思い資格を取ろうとした

歯科助手として長年働いていたが、資格の重要性を感じた為

歯科助手に携わり、歯科の仕事をもう少し深く勉強したいと思った為

何か手に職を持ちたいと思っていた所、歯科でアルバイトが出来る事になり、歯科衛生士を目指しました。

国家資格であり、これからやりがいのある仕事であると新聞に掲載されていたのを読んだのがきっかけ。

手に職という考えから、歯科衛生士は良いと思った。

私が高校生の時に進路に迷っている時に友人のお姉さんが歯科衛生士として活躍している姿を見て興味を持ちました。まだ歯科衛生士という言葉が普及していない時代でしたが歯科衛生士は予防が業務としてできることを知りました。当時看護師も視野に入れていたのですが友人のお姉さんの勧めもあり歯科衛生士を目指すことになりました。

矯正治療で毎月通っているうちにこの仕事に興味を持った

幼い頃、歯医者さんが怖くて嫌いだっただけで衛生士さんがずっと優しく声掛けをしてくれていたのがずっと心に残っていて、進路を考えていた時何か手に職をつけようと思ったのと同時にその衛生士さんのことが頭に浮かび、私も誰かの支えになれるような、感謝されるような衛生士さんを目指したいと思ったのがきっかけです。

資格のある職業に就こうと母からの薦めもあり進路の先生に相談したら、歯科衛生士という職業が有ることを教えてもらいました。助手としアルバイトをし、歯科衛生士になりたいと思いました。

娘の歯を予防するためにも知識と技術をつけたいと思ったため

近所の歯科で、アルバイトをし、歯科の奥深さを知りました。奥様が歯科衛生士で、「10人に1人の綺麗な歯並び」と褒められたのもきっかけです。

自分が歯の治療や矯正で歯科へ行く機会が多かったので興味が湧いてきて矯正の担当医に歯科衛生士の職業について教えてもらい、自分もなろうと決意しました。

人の役に立ちたいと思ったから

手に職があった方が、将来の為に親にすすめられて、決めました

歯科医院で働いていて歯科衛生士として資格を取り専門的に患者さんに関わりたと思いました。

看護師志望でしたが歯科受診の際に歯科衛生士という職業を知りました。医療系の職について、お役に立てる仕事してみたい。人の世話をするのが好きが志願理由です。

歯科衛生士っていう仕事があると確か歯科医院の歯科衛生士学校のポスターで知ったように思います。それから歯科衛生士について調べたと思います。その歯科医院には歯科衛生士の方はいらっしやなかったです

国家資格であり一生使えて、やりがいのある仕事。

災害ボランティアに行った際、歯科ボランティアセンターと書かれた看板を車内バスから見かけました。被災地で歯科とはと疑問を抱き、調べていく中で『話すため、食べるため』口は切っても切れない大切な身体の器官。そんな口腔に携われ、病を治す前の予防のスペシャリストである歯科衛生士に魅力感じました。

母が歯科衛生士でその姿を見てきたから

親戚が働いててかっこよかった

歯が折れたから

国家資格を取得したかったため

専門的な知識を持って働いている女性に魅力を感じたから

自分の経験を活かして歯科衛生士として患者に寄り添えると思ったから。

国家資格を取得したかったため

人を笑顔にしたかったから

歯科衛生士に憧れたから

母に進められ歯科衛生士体験学習に行き、魅力を感じた

将来の職の安定率が高いから

通っていた歯科医院の衛生士さんに憧れた

国家資格、安定した給料

将来的に安定していると思ったから

オープンキャンパスの参加

優しくて素敵な人だと思った

資格が取れて安定しているから

知人に歯科衛生士の方が居て強くこの職業をおすすめされた為。

資格取れる

手に職があった方が安定していていいと思ったから

安定してる職業だから

就職先に困らないから。やりがいのある仕事だから。

国家資格のため

資格が欲しかったから

国家資格を取りたいから

友人からの勧め

国家資格という手に職つけたかったから

資格を持っておきたかった

今持つて資格も活かせる部分がある気もした為。

お給料が良くて、ネイルができると聞いたから。でも実際は髪色ネイル自由なところは少ないし、お給料もそんなに良くない。

歯列矯正をして歯並びが良くなったことが嬉しく、自分と同じように歯並びで悩む人の力になればと思った。

安定してる職業で再就職しやすい

国家資格を取得できるため

安定しているから

やりたいことがなかった時に手に職をつけようと思って色々調べたことがきっかけになった

安定した職につきたかった

歯がコンプレックスで歯について知りたかったから

矯正をしていて月に1度衛生士さんとお会いする機会があって話していくうちに興味を持って目指そうと思った。

叔母が歯科衛生士で、母が歯科助手として働いており自分にとって身近な職業だったため。

自分の好きなことをやりたいということと、なにか資格を持っておきたいと思ったから

一生役立つ国家資格を取得したいと思ったから

親に歯を大事にしろと言われていて、定期的に歯医者に通っていて歯科衛生士に憧れをもったから。

手に職をつけたいと思ったのもあります。

母親が歯科助手をしていて同じ歯科医院にアルバイトとして入った。

国家資格だから。

国家資格で将来のためになると思った

高校の先生からの勧めで、興味を持ちはじめ、歯科衛生士についての業務をみて私もこんな仕事をしたいと思ったから

医療系に行きたかった。

歯の治療で綺麗にすることの大切さを感じたから

医療系に行きたかった。

矯正歯科医院に小さい頃から通っていて、その歯科衛生士さんが仕事してる姿を見てかっこよかったし、憧れをもったので自分もなりたいたいと思ったから。

将来、産休にはいるときや、一生ある仕事を考えた時に歯科衛生士は国家資格を取れるし就職に困らないと勧められたから

自分も矯正をしていて興味を持ったから

自分が珍しい歯の生え方をしていて歯医者さんによく治療をして頂いて親切にして下さったから。

抜歯した時、不安で怖かった時歯科衛生士さんに優しく接してもらった時、患者にすごい寄り添ってくれた時

医療関係のお仕事に興味がありました。

元々歯に興味がありませんでしたが母の口腔内が悍ましいことになっているので恐ろしく感じ、自分や他の人の歯を大切にしてもらいたくて目指しています。

医療系の資格が欲しくて探している時、歯科衛生士は再就職しやすい仕事だと知ったから。

最初は介護士になりたかったが話を聞くうちに心が揺らいでしまいそんな時友人の歯科助手さんに話を伺う機会がありました。そこで歯科衛生士の仕事内容や歯科助手との違いを知り自分でも調べたところ元々やりたかった介護にも携われる職業だと知り目指すようになりました

小学生の時、受診した歯科医院の女性スタッフの仕事が楽しそうと思っていた。今考えると歯科助手だったかもしれないですが...

歯科助手をしていた時に、歯科衛生士の仕事に魅力を感じたから。

国家資格であること

国家資格を取り、長く働きたかったので

歯科衛生士という仕事は知らなかったが、従兄弟の奥さんが歯科衛生士であったため、父より将来の仕事の一つとして提示されたのがきっかけ。手に職をつけるとか医療職の一つとして興味がわき結果的に現在に至る事となる。

国家資格

当時、姉が衛生士学校に通ってましたので影響を受けました。

子供、医療関係の仕事に就きたいと思っていた。自分には何が出来るだろうか?そんな時期に、好きだった従兄弟が歯科衛生士と結婚した。それ以降、ずっと歯科衛生士という職業が脳裏に焼付いた。それまで、あまり詳しくはなかったが、高校卒業後の進路に衛生士学校を目指していた。36年後の今も、かろうじて衛生士の仕事に就いている。

矯正してたから

昇給の為

お母さんが歯科衛生士だからです

資格を得たかった

国家資格だから

資格を取るため

歯科助手として働いて資格が大事だと思い目指しました

助手として働いてるよりお給料がいい

将来的な安定性 AIとかでは消えない仕事

将来的に活用しやすい資格だと考えたから。

歯科助手として働いてキャリアアップしたいと思った。

国家資格を取得して自分のライフステージに合った働き方をしたいから。

手に資格が欲しかった。歯科助手から仕事の幅を広げるため。

手に職を付けて安定した生活を送るため

歯科助手になって、憧れの歯科衛生士さんに出会ったから。

歯科助手の給料では生活できないと思ったから

歯科助手として働くよりお給料がいいから

資格というのを一つでも持ちたく、自分自身患者さんと接して達成感をえたいためです

歯医者で働いて出会った歯科衛生士に勧められたのと自分もやってみたいと思ったから

歯科助手として勤務中に出会った歯科衛生士に憧れたため。

専門用語が飛び交う中で働いていて、自分もそちら側に混ざりたい!と思ったのがきっかけです

歯科助手で長く働き、キャリアアップをしたいと思った。

元々憧れがあった

家族の手伝い

老後子供達に迷惑掛けず、手に職を付けて生活していきたいため

歯科助手からのキャリアアップ。できることを増やしたい。

国家資格なので、離職したとしてもまた同じ職に就ける。歯医者さんはコンビニの数より多いので務めやすい。

現職場のドクターが勧めてくれたから

歯科助手として勤務しているうちにスキルアップしたくなった為。

現在歯科助手として歯科医院に勤めていて、もっと自分のできる業務の幅を増やしたいと思って資格取得を目指すことを決意しました

女性だけでなく、男性でも働きたいと思ったから。

歯科助手として何年も働いてもっと広く活動したいと思ったため

歯科助手として働いて、自分の無力さを感じる事が多々あった為。

歯列矯正で、クリーニングをしてくれる衛生士さんがとても素敵で、憧れるようになりました。

歯科助手で働いてスキルアップをしたかったからです。

資格が重要だと感じた為

助手をしていて、もっと広範囲の仕事をしたかったから。

歯科助手のバイト

歯科助手をしていて、もっと患者さんに寄り添える仕事がしたいからです

歯医者で助手として働いていて、キャリアアップをしたいと思ったから

現在働いている歯科医院の院長に勧められた。また、自分のキャリアアップにも繋がるため

歯科助手で働くようになり、歯科衛生士になりたいと思った

母が歯科衛生士をしていて小さい頃から漠然と私もなりたいたいと思っていて、高校生になった時母が勤めている歯科医院で助手として働き始めてより歯科衛生士になりたいと思う気持ちが強くなったから

中学生の時に読んだ中高生新聞の職業紹介に歯科衛生士が載っていたのがきっかけ

私は元々歯医者に行くのが苦手と怖いと思いながら通ってた時に優しく向き合ってくれた歯科衛生士のおかげで恐怖心がなく通う事ができたので私も歯科に少しでも恐怖心を抱えてる人達に寄り添える歯科衛生士になりたいです。

将来資格で働きたかった自分にとって、小さい頃から虫歯等でお世話になっていた歯科衛生士が身近な職業に感じられたから。

学生の時のアルバイトで歯科助手をしていた時にやりがいを感じ、結婚、出産後も歯科医院でパートに従事していました。より歯科についての知識を高めたいと思い歯科衛生士を目指しました。

現在、看護師として歯科医院で勤務しておりますが、ダブルライセンスを持つ事で業務の幅を広げることができると思いました。

一緒に働いていた歯科衛生士が口腔外科で働いていた人で、その知識の豊富さに感心した。自分も資格を取ってもっと知識を深めたいと思った。

私の祖母は1本も歯がないので入れ歯を作ったが1回も使わなかった。そんな海外に住んでいる祖母に歯の大切さを教えたいと思った。

歯列矯正をきっかけに歯に興味を持ち、実際に歯科助手として働き始め、歯科で働く楽しさやスキルアップとして歯科衛生士を目指すことを決めた。

歯科医院で助手として長年務めていて、スキルアップの為に目指す事にしました。

医療関係に進みたかった。看護師のように生死が直接かわるのは避けたかった。消去法で歯科衛生士が見つかった。

中学生の頃から医療従事者で働きたいと思い看護師かと思っていましたが、義理の兄が美術大学から技工士の資格を取得し、高校の先輩が歯科衛生士の学校に進学した事もあり、歯科衛生士の勉強を試みようと思いました。

高校生の時、保健の授業で育児について調べてレポートを提出することになった。考えた挙句、乳歯について調べ、育児のなかで乳歯を守る大切さを知った。その時読んだ小児歯科医師が書いた本を読み、もっと歯の事について詳しく知りたいと思ったことがきっかけである。担任の先生は、人の口の中なんて見て何が楽しいの？と、当時はそんな反応だった。

小学校へ歯磨き指導に歯科衛生士がきました。その時は特別に感じていませんでしたが、高校3年で進路を決める際に医療人として社会に役立ちたいと思い歯科衛生士をめざしました。。

高校生の歯科助手のアルバイトがキッカケで続けていましたが資格が欲しいと思い25歳の時に学校へ行き直しました。

歯科助手として勤務していた院長から勧められ歯科衛生士免許を取得しました

国家資格が取得できること。手に職を付けられること。

学科説明会で担当者の話を聞いて興味を持った

1968年頃になります。大学受験を失敗して今後のことを模索していた時に「歯科衛生士」という初めて聞く職業を目にしました。知らないものに急に興味をもち、次年度の歯科衛生士学校受験に挑戦しました。それから50年以上現役で歯科衛生士業務を続けています。笑顔と、心身の健康に寄与出来る仕事に出会えて、感謝しています。あの時の大学受験失敗は苦いものでしたが、陰様でもあります。

バイト先の歯科衛生士さんが働いている姿を見て憧れた。

歯科衛生士歴38年です。当時はあまり周知されてなく、簡単な気持ちで学校へ行きました。しかし、結婚、出産、子育てを経験し、継続してる程魅力がある職業です。現在、開業医と行政に従事し、常に研鑽を積み、充実してます。妊婦、乳幼児～高齢者まで、学ぶ事も多いですが、知識と技術を身に付け、元気でいれば生涯続けられます。何処でも衛生士不足ですので、魅力を発信し、衛生士を増やしたいです。

国家資格であり求人倍率が高い、年収が平均以上である。人の役に立てる仕事であったため。

夜勤のない、医療系の資格を取得したかった為

高校のアルバイトで歯科医院に勤めていたため

ネットで女性が強い医療国家資格を調べて知りました。

国家資格のため

国家資格が欲しかった。

お母さんが歯科助手だから

自分の強みが欲しかったから

安定した給料です

手に職だから

資格取れるから

お金

将来的にずっと働くことを考えた時に歯科助手より資格を持って働いた方が安定していると思ったから。

母に紹介されて目指しました。

小さい頃から虫歯によくなってしまうので、歯科衛生士さんとの関わりがあり良くしていただいたので私もなりたいたいと思いました。

医師ほど大変ではなく看護師ほど実習が辛くなくそれなりにお給料もいいから

国家資格の魅力を感じたから

国家資格という強い資格を持てる方がいいなと思いました。それと自分のライフ生活が充実出来るようにメリハリある職場で働ける環境のため。

歯医者が好きで、健康関連にも興味があったから

母が歯科衛生士をしているから

働いている歯科医院での衛生士さんの仕事を見て、助手としてではなく、自分が直接患者さんに歯の大切さを伝えていきたいと思ったから。

SNSで歯科衛生士のお仕事などを見ていいなと思った。給料が安定していたり転職がしやすいところに惹かれた。

最初は親に勧められてだったが、衛生士の仕事を知っていくうちに、国家資格をもてる魅力的なお仕事だと気づいた

歯科衛生士を目指す前はホテル日の学校に通っていて、そこで実習や社会人としてのマナーを学ぶことができたのですが、給料が安くそれなのにお客さんに尽くさないといけなことが通っている間に思ってしまうようになりました。そこから転職を考え友達が教えてくれた職種についています

国家資格で働きがいがある

家族が歯科衛生士だから

知り合いの歯科衛生士さんに憧れました

歯医者が元々好きだった

将来安定している職業なため。

母親に勧められた

歯医者が小さい頃から好きだったから

憧れ

自分が、幼い頃むし歯で嫌な思いをしてそれをなくしたいから。

歯医者が好き

国家資格を取りたいから

高校生の時アルバイトとして働いていた時に歯科衛生士がいらっやって憧れました。

資格があるのでいつでもどこでも働けるから。

自分自身、歯医者に通っていた時に親身に寄り添ってくれた歯科衛生士の人に憧れたから。

医療職に就きたかったこと、矯正で通っていた歯科医院の歯科衛生士さんに出会ったこと

歯科衛生士はとても求められてる職業だと思い人に必要とされる人になりたかったから

祖父が認知症になって認知症が口腔に関係してると聞き目指した

歯科衛生士さんはコミュニケーションがよくかっこいいと思い歯科衛生士さんになりました

高校卒業後、歯科助手として働いてましたが資格があったほうが働きやすいと思ったので歯科衛生士を目指しました

医療関係で国家資格で働きたかった

国家資格だったため

姉が歯科衛生士だったのと高校時代の歯科助手経験から

身内に歯医者がいたから

勤務内容に興味があります。

人の役に立てる仕事をしたいと思ったため

国家資格を取得したかったため

資格が欲しかったから。

もてそー

一人で生きていくためです。

叔父に勧められて

そもそも医療系で、人と関わる仕事をしたかったから

大学に行っても就職できないと思ったから就職がしやすい歯科衛生士を選んだ

安定した職と休みがあるから。

家族がやっているから

矯正をしていたから

国家資格だから

就職する際にたくさんの選択肢があると思ったからです。

私は母が歯科衛生士で、幼い頃から仕事を近くで見えてきたこともあり、この仕事に興味がありました。小学生の頃から現在にかけて歯列矯正に通っており、以前より自分に自信が付き、人前で明るく楽しく笑えるようになった経験があります。他の人にも私と同じような経験をしてもらいたく、そしてその手助けがしたいと考え歯科衛生士になりたいと思いました。

実家が歯科医院を開業しており、親が働く姿を見て歯科衛生士に興味を持ったから。

特になし

矯正をしていたから

資格をとりたい

私自身が歯医者が苦手だったため

小さい頃から憧れていて、歯科助手として働き始めた時に知り合った衛生士さんがかっこよくて目指すようになった。

人を救ったり支える仕事をしたかったから

就職しやすいから

再就職のしやすさ

日本で凄い歯科衛生士になりたいから。

私の身内がほぼ医療関係者のため 自分も医療に進もうと思って歯科衛生士を選んだ

歯に悩んでる人を助けたい

両親が歯科医師だったり、家族親戚に医療関係者が何人かおり自分にとって一番身近な職業だったからです。

資格を持てるから

高校の3年の時に歯科助手の専門学校を希望してたのですが先生に歯科衛生士という職業があると聞き衛生士を目指しました。

母が歯科衛生士でその職業を知りなりたいと思った

親戚に勧められたのと資格を取れるので職に困らないと思ったから

母が歯科衛生士だったため

資格と知人に歯科衛生士がいて魅力を感じたから。

コロナがあって国家資格を持ちたいと思ったから。

医療関係に興味があったから

手に職を付けたく、また歯が注目されているという話を聞き、歯科衛生士を目指そうと思った。

国家資格だから取得しておいたら便利と思った

歯が好きだった

歯科助手では行えない仕事もできるから

国家資格が取得でき、再就職率が高いため

歯科矯正をしていたから

細かな作業が好きなため

歯科衛生士の方に優しく接していただき歯科衛生士になりたいと憧れを持ちました。

収入が安定しているため。

国家資格であるため。

国家資格のある職業に就きたいと思った。

高校の進路説明会で歯科衛生士について聞き、興味を持ったのがきっかけです。

これから先歯科衛生士という職業の重要性が高くなっていくと感じた。て

担当してくれた歯科衛生士さんのように優しく患者さんに寄り添い口腔内の健康を守りたいと思った。

家族の勧めがあったから

小さい頃歯科衛生士さんのおかげで歯医者が楽しかったため、なりたと思った

国家資格を持ちたかったから。

矯正に通っておりその歯科衛生士さんの仕事に憧れたから。また母が歯科衛生士の為憧れたから。

歯科矯正の際に、歯科衛生士の方にアドバイスをしてもらったり、相談に乗ってもらったりしたことで興味を持ち、私もなりたいたいと思うようになったからです。

これから先歯科衛生士という職業の重要性が高くなっていくと感じた

周りの人に勧められ、考えた進路の中で、今後の社会に求められる一番の職業ではないかと考え目指しました。また、高い就業率も理由の一つでした。

いつも担当してくださってる衛生士さんに憧れたから

資格を取得して専門職で、安定した職業をしたかったため。

思いつき。

コンビニより歯科診療所が多いのにも関わらず歯科衛生士が足りていないという情報を見て役に立つ仕事をしたいと思ったから

国家資格であることや、自分が歯科医院によく通っていて興味があったから。

歯科衛生士として、老若男女問わず幅広い方々に歯科保健指導を通して健康のあり方を伝えていきたくかったから。

私の家族に歯科医療関係者がおり、高齢社会の到来や保健医療の環境の変容により現在、歯科衛生士が足りないという話を聞きました。当時高校生だった私は将来の夢も何も無く、ただ漠然と医療従事者に憧れていたもので、国家資格である歯科衛生士はとても魅力的に思えました。

親がやってみじかだったから

母親に勧められた

歯科助手をしていた母の勧め

求人倍率が高い、国家資格で安定しているから

手に職を考えた時に周りに歯科関係者がいたため、歯科衛生士を目指しました。

手に職が欲しく、国家資格であり就業率が高い歯科衛生士に魅力を感じたから。

歯科衛生士さんが優しくて、歯科衛生士の魅力をおしえてもらったから。

医療に携わる仕事がしたかった。母が看護師で看護師を目指そうと考えたが、性格上無理と言われて歯科衛生士にした。

細かい作業が得意だから。また、忙しそうだから。

家族に勧められて参加した大学のオープンキャンパスで、歯科衛生士について知り、国家資格ということもありなりたいと思った。

国家資格を取得することができるので、将来、職に困ることがないと感じたから。また、高校生の時、就活が楽そうだと感じたから。

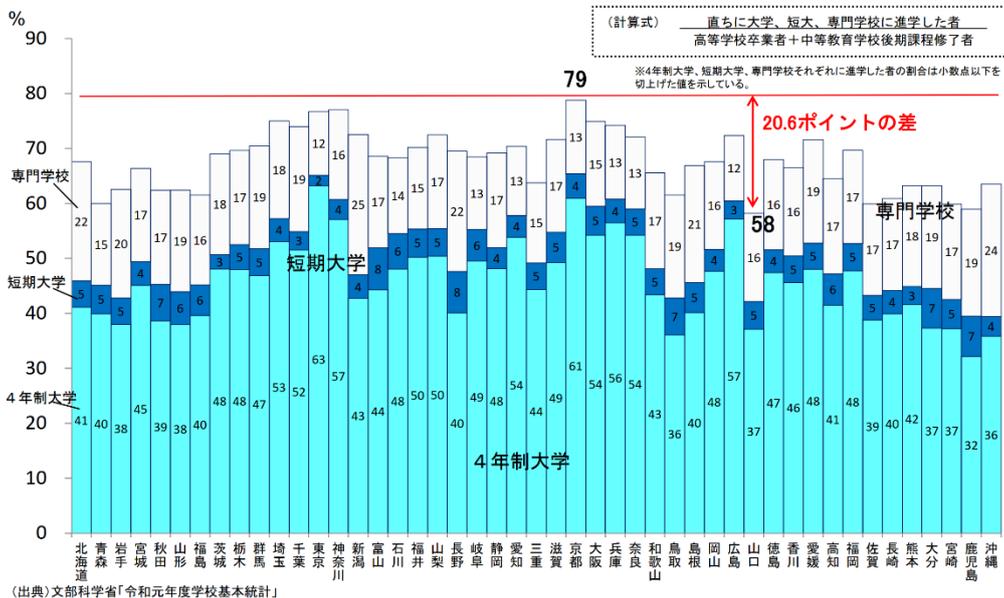
2021年度より当会は、歯科衛生士職を志望してもらうため様々な取り組みを始めました。昨年度は、「歯科衛生士を目指そう」の冊子を作成し、会員、歯科医師会等関係団体、そして東京都立高校全てに必要ながあれば、会より説明に伺う旨の周知文を付け 郵送致しました。数名の会員よりイベント等にて配布したい旨

(表2)

の連絡はあるものの、高校からの反応は未だありません。この事実を示すかのように文部科学省の資料によると大学、短期大学、専門学校への進学率は都道府県により大きく差があり、東京都は大学への進学率がとても高くなっております。18歳人口が減少する中、大学進学を希望する学生は今後も増える傾向にあるのではないかと推測されます。(表2)

都道府県別高校新卒者の4年制大学、短期大学、専門学校への進学率

令和元年度の都道府県別高校新卒者の4年制大学、短期大学、専門学校への進学率は、京都(78.8%)が最も高く、山口(58.2%)が最も低い。京都と山口では20.6ポイントの差。



(出典)文部科学省「令和元年度学校基本統計」

科衛生士の働く姿に感化されていることが本アンケートより読み取ることができました。このことから私達歯科衛生士が口腔の健康に寄与するだけでなく、その働く姿が次の世代に繋がることを自覚し職務に取り組むことが必要ではないかと感じます。

今後も歯科衛生士学校の関係者と連携し、歯科衛生士職をいかに目指してもらおうかについて考えてまいりたいと思います。

アンケート結果からは、歯科衛生士学生の回答が多くを占め、志望動機として「親族のすすめ」「身近な歯科衛生士への憧れ」が多くまた、歯科助手等既に歯科医院で仕事をしている方のキャリアアップが多くを占めており、今後は、歯科衛生士学校の同窓会の活用或いは、歯科医院への資料の設置など配布先についても検討が必要と考えられます。

歯科衛生士を目指す学生の回答で最も多かった内容は、現在仕事をしている歯